

加藤学園高等学校インターアクトクラブ
認証状伝達式記念誌

INTERACT CLUB



ROTARY CLUB



国際ロータリー第2620地区

提唱クラブ 沼津西ロータリークラブ



インターアクトの歌

東京西R.C

作詞、作曲 藤山一郎

ここに集いしわれらは

誇りも高しインターアクト

地域社会に 奉仕の理想

示せ今こそ そのまこと

ほほえみをもて

さしのべよ手を

世界を結ぼう

インターアクトわれら



認証状伝達式プログラム	2
来賓参加者リスト	3
開会の言葉 芹澤 貞治 認証状伝達式実行委員長	4
会長挨拶 井上 武雄 沼津西ロータリークラブ会長	5
認証状授与 飯田 祥雄 RI 第 2620 地区ガバナー	6
経過報告 久松 但 沼津西ロータリークラブ副会長	7
ご来賓祝辞	
飯田 祥雄 RI 第 2620 地区ガバナー	8
隈部まさる 地区新世代委員会委員長	9
内田 郁 地区インターアクト小委員会委員長	10
学校挨拶	
渡邊 正光 加藤学園高等学校副校長	11
祝電披露	12
式典写真集	13
懇親会プログラム	14
ご来賓祝辞	
道部 秉 RI 第 2620 地区パストガバナー	15
積 惟貞 静岡第 3 分区ガバナー補佐	16
生徒挨拶	
大原 明華 加藤学園高等学校インターアクトクラブ会長	17
クラブ紹介	18
懇親会写真集	19
ホームページ案内・編集後記	20



日時：2009年9月23日(日)11:00～12:30
会場：ブケ東海沼津（フェニーチェの間）

司会：沼津西ロータリークラブ
栗原 侑男

開会の点鐘	沼津西ロータリークラブ会長	井上 武雄
国歌斉唱	ソングリーダー	本村 文一
ロータリーソング「奉仕の理想」	ソングリーダー	本村 文一
インターアクトソング	ソングリーダー	井出 有慧
開会の言葉	認証伝達式実行委員長	芹澤 貞治
来賓紹介	認証伝達式実行委員長	芹澤 貞治
会長挨拶	沼津西ロータリークラブ会長	井上 武雄
認証状授与	RI 第 2620 地区ガバナー	飯田 祥雄
経過報告	沼津西ロータリークラブ副会長	久松 但
来賓祝辞	RI 第 2620 地区ガバナー	飯田 祥雄
	地区新世代委員会委員長	隈部まさる
	地区インターアクト小委員会委員長	内田 郁
目録授与	認証伝達式実行委員長	芹澤 貞治
学校代表挨拶	加藤学園高等学校副校長	渡邊 正光
祝電披露	認証状伝達式SAA	栗原 侑男
閉会の言葉	認証状伝達式実行副委員長	宮島 賢次
閉会の点鐘	沼津西ロータリークラブ会長	井上 武雄 [敬称略]



国際ロータリー第 2620 地区関係

地区ガバナー	飯田 祥雄
地区パストガバナー	道部 秉
静岡第 3 分区ガバナー補佐	積 惟貞
地区新世代委員会委員長	隈部まさる
地区インターアクト小委員会委員長	内田 郁
地区新世代委員会副委員長	鈴木 實
地区新世代委員会委員	太田 丈三
地区インターアクト小委員会副委員長	池田 龍司
地区インターアクト小委員会委員	佐野 聖
地区インターアクト小委員会委員	伊藤 静夫

加藤学園高等学校関係

副校長	渡邊 正光	
顧問教師	松本 英教	浅井 健雄
インターアクトクラブ	会長 大原 明華	幹事 鈴木 順子
	副会長 勝俣 文菜	
インターアクトクラブ会員	渡邊 岳志	間間 亜実
	室伏ひかる	大村 菜月
	土屋 貴大	長崎 生
	杉山 慶祐	鈴木 一寧

沼津地区ロータリークラブ関係

沼津ロータリークラブ	会長 鈴木 啓司	幹事 野際 宏行
	I A C 委員長 鈴木 愛美	
沼津北ロータリークラブ	会長 山本 倫弘	会員 土屋 忠夫
	I A C 委員長 大塩 秀樹	
沼津柿田川ロータリークラブ	会長 前田 守	幹事 伊東喜久雄

[敬称略]



沼津西ロータリークラブ
認証状伝達式実行委員長

芹澤 貞治



本日は皆様大型連休最後のお忙しい中、R I 2620 地区ガバナー飯田祥雄様を始め、パストガバナー道部兼様、静岡第3分区ガバナー補佐積惟貞様、そして地区新世代委員会、インターアクト小委員会の皆様、又沼津地区各クラブの会長・幹事・インターアクト委員長と、多くのロータリアンにご臨席賜り、加藤学園高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式が、この様に盛大に執り行えます事に、御礼申し上げます。加藤学園高等学校からは、渡邊正光副校長を始めとして、顧問の先生と生徒も多数参加しております。インターアクトの生徒達は、この日を心待ちにしていた事と思います。

ここに2620地区で21番目のインターアクトクラブが、我が沼津西ロータリークラブの提唱で誕生しました。

我がクラブは今年で創立19年目と沼津4クラブの中では一番新しいクラブではありますが、結成以来の固い団結と友情、そして会員のロータリーに対する情熱は、RI2620地区内でも一番ではないかと思っております。この情熱が会員数23名の小さなクラブが、インターアクトクラブの提唱という大事業を行う事に結びついたと考えます。

歴代の新世代や、青少年委員会よりインターアクトの話は都度出され、協議等はなされましたが、費用や人的な事情により出では消え、消えては出てを繰り返しておりましたが、前々年度渡辺亀一会長、前年度鈴木泰次会長の尽力と会員一同の熱意で、ここに縁ありまして加藤学園高等学校との考えが一致となり、本日認証状伝達式を迎える事が出来ました。

さて、インターアクトの会員の皆様には、若い力で学校内・地域・そして海外に向って奉仕して頂き、何よりも国際感覚を高め友情を育てて頂きたいと思っております。そしてこれを機会に個々の資質を高め、リーダーとして成長して頂く事を期待しております。その為には沼津西ロータリークラブ会員一同力を惜しまず協力・援助する所存であります。

いみじくも、9月はロータリーの新世代月間であります。この時に若い方々の船出の手伝いが出来ますのも、なにかの縁かと感じております。

最後になりますが、沼津西ロータリークラブと加藤学園高等学校インターアクトクラブに対し、RI2620地区そして、近隣のロータリークラブの絶大なる協力をお願い致しますと共に、沼津西ロータリークラブと加等学園高等学校インターアクトクラブの絆が末長く続き、共に発展する事を願ひまして実行委員長の挨拶とさせていただきます。



沼津西ロータリークラブ

会長

井上 武雄



本日は RI2620 地区カバナー飯田祥雄様、パストガバナー道部 乗様、静岡第 3 分区ガバナー補佐 積惟貞様、そして、地区新世代委員会、インターアクト小委員会の皆様ならびに沼津地区ロータリークラブ会長・幹事・インターアクト委員長の皆様、大変お忙しい所をご臨席賜りまして、心よりお礼を申し上げます。後程、地区役員の皆様よりご祝辞を頂きたいと存じますので、宜しくお願い申し上げます。

また、加藤学園高等学校・渡邊正光副校長、インターアクトクラブ会長・幹事並びに会員の皆様、本当におめでとうございます。

提唱ロータリークラブを代表して心より歓迎を致します。今日のインターアクトクラブ認証状伝達式が、インターアクターの皆様一人一人の心の記念すべき日になる事を願ってやみません。インターアクトクラブが目指すものは、リーダーとなるための指導力を高め、地域社会に貢献し、国際理解を深める様な活動を行うことです。

インターアクターの皆様は、貴重な経験をし、人間的に成長する場を与えられたと思います。インターアクターは奉仕活動を通して、事柄の重要性を学びます。

- ①指導力と誠実な人格の育成
- ②他者を尊重し、進んで助ける態度
- ③各自の責任を果たし、一生懸命努力する事の尊さ
- ④国際理解と親善の推進です。

若い皆様方は、将来、親となります。専門的な職務や事業に携わる指導者や地域社会の指導者となります。インターアクトのようなプログラムの力を借りて、若い皆様方が責任感のある社会の一員になる為に、必要な手段と技能を身に付ける事が出来ます。

自分自身の力を試し、この先の人生の中で直面する問題に立ち向かう事の出来る心の育成がなされていくと思います。後程、地区委員会役員の方々より詳しくお話が有ると思いますので、宜しく願い致します。

国際ロータリーは、世界的な奉仕団体です。31,000 のロータリークラブと 120 万人を超す会員を有しています。そして、インターアクトクラブは世界 120 ヶ国に 8,700 ものクラブがあり、その、若い会員の数は 25 万人を超えています。青少年が様々なインターアクトの奉仕活動を通じて国際理解と親睦の輪を広げています。

皆様のインターアクトクラブは、加盟を承認され、そして本日、認証状伝達式を迎えられたのです。インターアクトクラブとしてロータリー家族の一員になられたのです。

当クラブは、来年度、設立 20 周年を迎えます。20 周年記念の一環の事業として、沼津西ロータリークラブと加藤学園高等学校のインターアクトクラブが設立の証として認証状伝達式を盛大に取り行いました事に深く感謝し、RI2620 地区の皆様、そして、日頃お世話になっている諸先輩、近隣クラブの皆様にもました御指導、御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。クラブ会長の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。



加藤学園高等学校

インターアクト・クラブ結成認証状



国際ロータリー認証：2009年5月14日

2009-2010年度 国際ロータリー会長：John Kenny

2009-2010年度 第2620地区ガバナー：飯田 祥雄





沼津西ロータリークラブ

副会長

久松 但



沼津西ロータリークラブの15周年記念式典(2006年5月)の際、当時ガバナーノミネーでいらっしやいました道部乗様より、当クラブに対し「沼津の高校に新たにインターアクトクラブを作られたらどうですか」という話がありました。

その後、道部乗様がガバナーの年度の時に、当時三島ロータリークラブの幹事でいらっしやいました藤幡(ふじはた)俊量(としかず)様と友人でいらっしやいます加藤学園高等学校の渡邊正光先生との話の中で、加藤学園高等学校にもインターアクトクラブを作ってみようという話が持ち上がりました。

このため、藤幡(ふじはた)俊量(としかず)様より道部乗様に設立についての話があり、その後、道部乗様より当クラブの現会長井上武雄が話を受けまして、設立を検討してみるということになりました。

その後、沼津北ロータリークラブ様にインターアクトクラブについての卓話をしていたり、クラブフォーラム等で協議を重ねまして、2007年12月のクラブの総会で加藤学園高等学校インターアクトクラブの設立を目指すということになりました。

設立の手続きにつきましては試行錯誤でしたが、2008年10月に当クラブの会員が学校を訪問し、顧問の松本英教先生とともにメンバー構成や事業活動について話し合いを持ちました。

また、2008年12月の指導者講習会には当クラブの会員が出席をするとともに、2009年2月には、南アルプスロータリークラブ様に4年前に設立された白根高等学校インターアクトクラブについての説明をして頂きました。

そして2009年5月14日設立後、ガバナー事務所に認証のための申請書を送付し、2009年6月30日付けで認証状を頂きました。

その後当クラブの例会に、生徒さんに参加して頂いたり、当クラブの会員が学校を訪問して打ち合わせを重ねまして、本日の伝達式を開催するに至りました。



国際ロータリー第 2620 地区
ガバナー

飯田 祥雄



私は、国際ロータリーの第 2620 地区である、静岡県と山梨県にあって活動する 80 のロータリークラブのガバナーという役目を、2009 年 7 月 1 日から 2010 年 6 月 30 日までの 1 年間勤める飯田祥雄と申します。

今日は、この地区で「新世代」と言ってお達より若い人たちを相手にする事業を担当する委員長の隈部さん、副委員長の太田さん、そしてインターアクトクラブ担当委員長の内田さんの 4 人でお祝いを申し上げるために、甲府からやって参りました。

沼津西ロータリークラブの皆さんと、加藤学園高等学校の皆さんがインターアクトクラブ設立の準備努力を積み重ねて、今日国際ロータリーから加盟を承認する認証状が伝達されることになったのは誠に喜ばしいことで、関係する皆様にも心からの感謝と尊敬の思いを捧げたいと思います。

ところで、沼津西ロータリークラブの皆様は、なんのために、この加藤学園高等学校にインターアクトを設立したかったのでしょうか。インターアクトクラブの会員となる高等学校の生徒さん達に、何を伝えたかったのでしょうか。この事は、多くの人たちが語りますから、少しずつ変化があるかも知れませんが、私の理解する所で申し上げます。

私達ロータリークラブの会員達が信じ、そして実行している職業奉仕(英語では、VOCATIONAL SERVICE と言います)という人生観、処世訓に関心を持ってほしいからです。そして成人していく過程で、きっとその意味を理解し、私達と同じ思いで過ごす人たちになってくれるのを祈るのです。

私達は、社会の一員として職業に従事します。職業は自分の決断で進路を定めた結果ですが、社会全体を推進する何か大きな意志が働いて決断させてくれたもののようです。わが生業(なりわい)を神に捧げると表現する人もいます。

私達にとって、自分の職業活動を一生懸命努めることが最も社会のみんなのためになる行為です。みんなのためになるように、役に立つようにと思いながら、誰にもいやな思いや迷惑を掛けずに努める職業活動が一番尊く、価値のある行為です。そして結果も豊かに実ります。だから自分や家族、同僚達の生活を支えることが出来、さらに将来のためにしっかりした基盤を築くことが出来ます。

そして、多くの人の場合、与えられた成果の余裕を持って地域社会や全世界の人たちの幸福のために尽くすのです。

これが可能な自分であることは、私達を元気にし幸福にしてくれます。自分たちの努力の延長線上にこの喜びがあることに私達は他にない充実感、達成感を得て、幸福になることが出来ます。

インターアクトクラブは、見聞と体験の場だと思えます。いろいろな話に関心を持って下さい。他の人のために良かれとする行動が自分に与えてくれる喜びを体験してみてください。

加藤学園高等学校インターアクトクラブの皆さまの豊かで幸せな人生に期待と祝福を申し上げます。おめでとうございます。



国際ロータリー第 2620 地区
新世代委員会委員長

隈部 まもる



加藤学園高等学校インターアクトクラブ認証状伝達式に出席させて頂き光栄に存じます。インターアクトクラブの目的とか目標は、充分御理解頂いた上の事と存じます。

ロータリアンと共に歩むインターアクトは、奉仕と国際理解に対し世界的な団体で、学校に在学中の生徒または 14 才～18 才迄の青少年が入会できます。

世界で最初に誕生したインターアクトクラブ（以下、IAC）は、アメリカフロリダ州メルボルン高等学校 IAC です。1962 年 10 月 28 日に 23 人で結成し、1962 年 11 月 5 日に国際ロータリーから承認されました。11 月 3 日～9 日は世界インターアクト週間です。これはメルボルン高校の承認日にちなんで、11 月 5 日を含む一週間が指定されているのです。

日本においては、1963 年 6 月 27 日仙台育英学園高等学校 IAC(現 2520 地区)、6 月 28 日西京商業高校 IAC(現 2650 地区)が相次いで結成されました。そして、本日ここに輝く星として誕生したのが、加藤学園インターアクトの皆様です。ちなみに、ローターアクトは、1968 年ノースカロライナ州で最初に認証されました。

このインターアクト・ローターアクト・ロータリアンは奉仕の世界において家族なのです。人が環境をつくり、環境が人をつくると言います。そしてそれは、歴史の上に成り立っています。日本の歴史は、あなた達が築くのです。高校生の時でなければできない冒険を精一杯して下さい。大きな夢と希望をもって下さい。そして、本物に触れるという事、人・絵・音楽等々本物に触れる事が人世に大きな意義をもたらします。本物に触れると、見えないものがみえてきます。多くの人に出会い、多くの経験をしてください。勉強は、一生しなければなりません。でも、高校生でなければ得られない事がたくさんあります。これからインターアクトとして、得られた経験とか知識は、非常に大切なものだと思います。日本の国の為に、自分を大切に、夢に向かって邁進し指導者として成長して頂きたいと思います。そして、この有意義な伝達式の感激を忘れないで下さい。



国際ロータリー第 2620 地区
インターアクト小委員会委員長

内田 郁



インターアクトクラブ誕生おめでとうございます。誕生まで、御苦勞なされた学校関係者、スポンサークラブである沼津西ロータリークラブの方々に心から敬意を表します。

第 2620 地区で 21 番目のクラブとなったわけですが、現在約 360 名の生徒さん達が様々な活動をなさっております。

しかし、残念な事に、部員がゼロの学校が 2 校ございます。

顧問の先生とロータリアンの連絡不足、又、部自体のアピール不足等が考えられますが、これからの部員数増加を期待しております。

次世代の育成は、ロータリアンに課された大きな役割でございます。

ロータリーの友 11 月号縦書き 6P に、新世代の人作りという記事が掲載されております。その中でも第 2800 地区の P.G で藤川さんのお話に、感心させられました。

ライラで、山伏修業体験をした中学生何人かの体験談です。

「人間は粗末な食事でも、これ以上食べるものがないと覚悟したら盛り切りのご飯でも満足することが分かりました。

そして逆に今まで自分がいかに要らないものまで食べすぎていたかが分かりました」と。

そして、その学生の学校のプラスバンド部の話が載っています。「町も学校も PTA も予算がなく楽器の修理もできない。新しいものも買えないのでガバナーに支援をお願いできないものだろうか?」

数日して、その子から手紙が来て校長先生に次のように教えられたそうです。

"ロータリーの人達は世界でご飯も食べられない人達の為に一生懸命頑張っている。世界に君達と同年代で満足に食事もできない人達がどれだけ多くいることか。

楽器の音色が悪くとも死ぬことなんかないんだぞ!"その中学生は話を聞いて涙が止まらなかったそうです。

藤川 P・G は「先生も素晴らしいが、ロータリアンとしてこういうリーダーを育成したい」又「ロータリアンが青少年問題と取り組むには、われわれが、どれだけ子供たちと一緒に汗を流すかがキーポイント」だとおっしゃっております。

これから先、私達が後継者である次世代を大切に育成していくことが、我々ロータリアン一人一人の責務ではないでしょうか!

沼津西ロータリークラブの皆様には、これから、生徒さん達が伸び伸び活動できるよう、心、両面での御協力、御指導をお願い申し上げます。

委員長の挨拶にかえさせていただきます。



加藤学園高等学校
副校長

渡邊 正光



本日は、加藤学園高等学校をインターアクトクラブとして認証して戴き、誠に、ありがとうございます。

本校は、建学の精神である「至誠」を校訓に「何事にも真心を込めて取り組み、どんな人にも真心をもって接する人間育成」を教育の最高目標に掲げております。また、目標実現のために、積極的にボランティア活動に参加することを奨励して参りました。核家族化が進む昨今、最も必要なことであり、国際化の中で次世代を担う人たちが、広く世界にも目を向けて活動の場を広げていく必要があるからです。

これまで、生徒会を中心に募金活動に積極的に協力にて参りました。各家庭で眠っている眼鏡や文具をアジアの国に送ったこともありました。また、NPO 団体主催の活動にも参加し、汗を流して環境整備することの大切さを生徒全員が体感しております。

インターアクトの、「奉仕を通して、指導力と誠実な人格の育成・他者を尊重し、進んで助ける態度・各自の責任を果たし、一生懸命努力することの尊さ・国際理解と親善の推進の重要性」等を学ぶという目標は、本校の目指すものと同じであり、この度お誘い戴きましたことは、素晴らしい機会を戴いたことと感謝しております。クラブでの活動を通して、責任感のある生産的な社会人となる手段や技能を身に付け、社会人になってからも、奉仕活動に関心を持ち続け、更なる世代に繋げていく指導性が培われることを願っております。

現在、生徒会を中心にクラブの発足に向け歩み始めました。ロータリアンの皆様に教えて戴きながら、地域社会に貢献できるクラブになるよう努力していきたくと思います。活動を通じ、友人の輪を広め、よりよい友情を築き、他国のクラブとの協同プロジェクトを通して異文化を学び、国際親善に貢献できるようになればとも、考えております。

これからもご支援宜しく御願い致します。



1、沼津市長 栗原裕康様

インターアクト認証式の開催を
心からお喜び申し上げます。
インターアクトクラブの
諸活動を通じて
地域社会や国際社会や国際社会に貢献する
青少年が多数育まれますことを
祈念いたします。

2、沼津市教育委員会 委員長 石川三義様

インターアクトクラブ設立おめでとうございます。
貴校のご活躍を祝すとともに、
奉仕活動やボランティア活動など
幅広い活動を期待しています。

3、三島ロータリークラブ 会長 西原孝次様

加藤学園高等学校インターアクトクラブご誕生誠におめでとうございます。併せて、沼津西ロータリークラブのみなさん、スポンサークラブご英断いただきまして、2620 地区で新たなインターアクトができましたこと、心からお祝い申し上げます。これからは、共にボランティア活動に邁進したいと思います

4、沼津商業高等学校インターアクト・ボランティア部 部員一同様

インターアクトクラブ設立おめでとうございます。
指導者講習会、年次大会での交流を楽しみにしています。
また、本校で行っている沼津駅前での献血キャンペーン、
イトーヨーカ堂での沼津福祉祭りでの販売ボランティアなど、
地域活動と一緒に取り組むことが出来れば嬉しいです。

5、沼津中央高校 インターアクトクラブ部長 松本美樹様

インターアクトクラブ認証式おめでとうございます。
私達のインターアクトクラブは 1979 年 2 月の認証以来 30 年たちました。
これからは、力を合わせて国際交流やボランティア活動をがんばりましょう。
12 月 13 日には本校がホスト校として、指導者講習会が開かれます。
当日、お会いできるのを楽しみにしています。



認証状伝達式壇上



沼津西 RC 関係・副校長・ガバナー補佐



RI 第 2620 地区関係



インターアクトクラブ ソングリーダー



目録授与



沼津北 RC より記念品授与



日時：2009年9月23日(日)12:45~14:15

会場：ブケ東海沼津（アドリアの間）

司会：沼津西ロータリークラブ

栗原 侑男

開会の辞 沼津西ロータリークラブ 杉山 了

来賓祝辞 RI 第2620地区パストガバナー 道部 秉

静岡第3分区ガバナー補佐 積 惟貞

インターアクトクラブ会長挨拶及び会員紹介

加藤学園高等学校

インターアクトクラブ会長 大原 明華

会 食

アトラクション

ソプラノ・ソング シンガー 高田 紹代

ピアノ 半田 規子

手に手つないで ソングリーダー 本村 文一

閉会の辞 沼津西ロータリークラブ 杉山 壽章

[敬称略]



国際ロータリー第 2620 地区
パストガバナー

道部 秉



沼津西インターアクトクラブ設立を祝して

このたび沼津西インターアクトクラブが設立されたことに対し、心よりお祝い申し上げます。

私にとりましては欣喜雀躍する思いであります。第 2620 地区のガバナーエレクトに任命されてから、青少年奉仕活動に力を入れたいと思っていました。ご存じのようにロータリーアクトクラブは衰退の一途をたどり、インターアクトクラブも 2005 年度に白根インターアクトクラブが設立されてからしばらく設立の機運がありませんでした。

私にとっては子クラブという気安さもあって沼津西 RC へ、インターアクトクラブ設立の打診をしておりましたところ、三島 RC の藤幡会員から加藤学園高校が希望しているとの情報をいただき、当時から加藤学園高校と公私共に交流をお持ちの沼津西 RC 井上会員にご相談申し上げ、ご尽力いただき見事設立されました。ですから我がことのように嬉しく思っております。

インターアクトクラブは 1962 年に米国フロリダ州メルボーン高校から始まり瞬く間に世界へ広がりました。今 120 カ国以上 25 万人の会員がいます。インターアクトと International と Action の合成語であります。

会員の皆さんには次の 3 つのことを要求しています。

- 1) 仲間を作ろう、学校や地域社会のみならず世界の若者たちと出会い世界をよりよい場所にする願いを分かち合いましょう。
- 2) 率先する、人々の役に立ちながらリーダーシップの力を伸ばしましょう。
- 3) 奉仕をしよう、国際理解と親善のため、地域社会のためボランティアとして自分のエネルギーと時間を使って活動しようということです。

第 2620 地区には現在 20 の先輩インターアクトクラブがあり素晴らしい活躍をされております。1 日も早く仲間入りして一緒に活躍してください。

沼津西 RC の会員には絶大なバックアップをお願いして、加藤学園高等学校インターアクトクラブを順調に発展し、奉仕活動に専念できるよう見守ってあげてください。顧問の先生にはよろしくご指導をお願い申し上げます。



静岡第3分区
ガバナー補佐
積 惟貞



加藤学園高校インターアクトクラブ設立のお祝い

大変良い天候に恵まれた本日、第 2620 地区飯田ガバナーのご臨席のもと加藤学園高校にインターアクトクラブが創設され無事 RI より認証状が授与されましたことまことにおめでとう御座います。設立までの諸問題を解決し努力なされた加藤学園の校長先生をはじめ関係の諸先生に敬意を表すると共に、厳しい社会情勢の中ともすれば守りの状態を余儀なくされている昨今、沼津西 RC のこの活動は私達ロータリアンにとって極めて誇らしく胸のすく思いで御座います。

この度、私たちロータリーが提唱する国際的青少年奉仕団体インターアクトクラブに縁あってご入会なされた皆さんは、今日から国際的なインターアクターになったわけです。世界中の同年代の若者が、手を携え住みよい世界を目指すのに、インターアクトクラブは最適な組織の一つであります。

さて、ロータリーとは今から 100 年ほど前に各種職業の代表者が集まり、親睦と奉仕をする団体としてアメリカのシカゴで生まれました。今では 207 カ国、約 33000 のクラブで 122 万人の会員を擁する世界最大の奉仕団体であります。また世界最初のインターアクトは 1962 年フロリダ州メルボルン RC の提唱でメルボルン高校に発足しました。

翌 1963 年には仙台育英高校に 100 人を超える人数で誕生、その後世界各地の高校に設立され、この沼津地区にすらすでに 2 つの高校にインターアクトクラブが存在し、それぞれ独自の活動をしています。

これから皆さんは、インターアクトの目的、目標について提唱団体の沼津西 RC の皆さんと積極的に話し合い理解して奉仕活動をしていただき、世界中のインターアクターとの交流を深めてその認識を広めていただきたいと思います。と同時にロータリアンの諸先輩との気軽なお付き合いのできるチャンスに恵まれた幸運を、是非、自分のものとして、将来の糧にしていきたいと思います。本日は、本当におめでとう御座いました。



加藤学園高等学校
インターアクトクラブ会長

大原 明華



本日は、私達のためにこのような立派な式を開いてくださり、本当にありがとうございます。

私達、加藤学園高校には、今までボランティアに関するようなクラブはなく、生徒会中心の限定された活動が主体でした。

ですが、ボランティアをやってみたい、または興味があるという生徒は私を含めてたくさんいると思います。

これからはインターアクトクラブを通じて、「ボランティア活動」という誰にでもできる
ように難しいこの活動に、社会的奉仕の精神と意欲を持って取り組んでいき、
自分自身を成長させていきたいと考えています。

また、私たちにこのような素晴らしい機会を与えて下さったロータリークラブの皆様
に感謝し、その名に恥じないように、活動していきたいと思ひます。

ご指導のほどよろしくお願ひします。





地区番号	・国際ロータリー第2620地区
インターアクト・クラブの名称	・加藤学園高等学校インターアクト・クラブ
プロジェクトの名称	・身近なボランティア
プロジェクトの郵便宛先	・静岡県沼津市大岡自由ヶ丘1979番地
例会場	・加藤学園高等学校 教室
例会日	・毎月第1木曜日
電話・FAX番号	・TEL 055-921-0347 FAX 055-924-4733
提唱ロータリー・クラブ名	・沼津西ロータリー・クラブ
結成年月日	・2009年5月14日

担当教師
松本英教・浅井健雄

役員
 会長 大原 明華(3年)
 副会長 勝俣 文菜(3年)
 幹事 鈴木 順子(2年)
 会計 渡邊 岳志(3年)
 理事 室伏ひかる(2年)

3年生
 大橋 宏美
 杉山 慶祐
 鈴木 一寧
 土屋 貴大
 長崎 生
 益田 寛之

2年生
 井出 有慧
 大村 菜月
 鈴木奈津美
 竹内 菜摘
 西島さより

1年生
 一場 美香
 大津 亜子
 蒲田 優
 芹澤佳央理

2009年10月30日現在



開会の辞
杉山 了君



閉会の辞
杉山壽章君



ホームページのご案内

インターアクトクラブ要覧

(活動案内と標準インターアクト定款・細則等)

<http://www.rotary.or.jp/data.html>

国際ロータリー第2620地区案内

<http://ri2620.gr.jp/>

学校法人 加藤学園 加藤学園高等学校

www.katoh-net.ac.jp/KatohHS

編集後記

久松副会長より公表のありました経過報告の通り、当沼津西ロータリークラブの親クラブである沼津北ロータリークラブから輩出されました2007-2008年度RI第2620地区道部乗ガバナーよりお声が掛かりました。それが始まりで、当クラブの様な小人数クラブで果たして運営が出来るものかという迷いがあり、約2年の歳月が経ちましたが晴れて創立を認証され、この認証状伝達式を迎える事が出来ました。非常に喜ばしい限りです。

ただそれと同時に、これがスタートラインに立ったという緊張感と、クラブの維持、繁栄、拡大という未来に向けての活動を共に運営して行く、責任感を持ちました。

インターアクトクラブの生徒達も全てが初めての事、これから色々な事を一つ一つ試行錯誤しながら運営されて行かれるでしょう。そして、クラブの目的である奉仕の精神と、国際理解を身を持って体験し、理解され、立派な社会人になる為の糧とされる事でしょう。

その運営と、体験活動を正確に手助けして行く責務を持つのが、当クラブです。私達も初めての経験になります。しかし、私達は今日までに培った結束力が有ります。きっと、生徒達と当クラブ会員の協力の下、素晴らしい運営がなされて行くことと信じます。

もちろん、未経験同士である私達だけで上手く行くとは考えません。ロータリーでも、人生の先輩でもある、認証状伝達式にご臨席頂きましたご来賓の皆様には、これからもご指導ご助言を頂きながら、インターアクトクラブのより良い運営に邁進して行く所存であります。今後ともご協力の程お願い申し上げます。

今回記念誌発刊に当たり、多数の皆様にご協力頂きました事を謝し、心よりお礼申し上げます。

インターアクトクラブ認証状伝達式記念誌委員会一同

認証状伝達式記念誌

国際ロータリー第 2620 地区 加藤学園高等学校インターアクトクラブ

発行日：平成 21 年 10 月

発行者：沼津西ロータリークラブ

編集者：認証状伝達式実行委員会

事務局：〒410-0309 沼津市根古屋 127・10

TEL・FAX 055-967-2152



INTERACT CLUB



国際ロータリー第 2620 地区
加藤学園高等学校インターアクトクラブ
〒410-0022 静岡県沼津市大岡自由ヶ丘 1979 番地
TEL 055-921-0347 FAX 055-924-4733